

念ずれば花ひらく

荒尾市立荒尾第三中学校便り
令和3年6月16日(水)
第5号 文責:森川 孝巳

失敗した時が成長するチャンス！！

学習スケジュール表(テスト勉強充実大作戦「MISSION」)での計画はうまくいきましたか?この中間テストで大切だったことは結果ではなく、その過程です。

①自分で計画を立て、何を勉強するかをまず決める。②次に全力で取り組む。③最後はうまくいかなかったところをどうやったらうまくいくのか自分で考える。この習慣を身につけることができれば、必ず学力は向上します!何事も失敗した時がチャンスなのです。その時、なぜ失敗したのか、次はどう工夫すればいいのかを考えるのです。この力が自分の夢や目標を叶えるための力になるのです。『気づき考え行動する力』が大切なのです。

「友達の友達は みな友達だ 世界に広げよう 友達の輪！」

これは、1982年(昭和57年)10月4日から2014年(平成26年)3月31日までTV放送されていた「笑っていいとも」のテレフォンショッキングというコーナーで司会のタモリさんとともに観客全員で口にしたフレーズです。本コーナーに出演したゲストが「お友達紹介」として、次のゲストを電話で依頼するというものでした。

第1回目のゲストは桜田淳子さん、最終回のゲストはビートたけしさんでした。元々、このコーナーは司会のタモリさんが当時大ファンであった伊藤つかささんに会うためにゲストによる“友達の輪”を繋いでいき、伊藤さんをゲストに招くことを目的に始まったと言われています。そして実際には、1985年(昭和60年)7月8日に出演されたようです。実に31年余りの長寿番組で、述べ8054人が友達としてゲスト出演されました。

三中でも、このように友達の輪を繋いでいけば、493人すべての生徒が友達になるような学校でありたいですね!そのためには、一人一人が、人それぞれの個性(多様性)を認め、尊重できる人に成長することが大切です。そして、そんな友達の輪を三中にも広げ、友達を大切にする生徒でいっぱいの学校になってほしいと思います。

6月は「心のきずなを深めよう」月間です。自分の命と同じように友達の命も大切にする心を学校生活で身につけてください。



先輩の思いを胸に・・・つかめ心の優勝旗！

いよいよ中体連大会が開催されます……。昨年度は、先生たちも含め、誰も経験したことがない夏季中体連大会の中止。先輩たちの悔しさや悲しさは、どれだけのものだったでしょう。今年は、生徒・保護者・職員の「今年は絶対開催したい」という思いと、新型コロナウイルス感染拡大防止の努力により、何とか開催できるのではないかと、という状況までくることができました。また、この状況の中で、十分な感染対策を行うことを前提に会場を提供していただく各市町教育委員会及び中体連関係者のご尽力には、心より感謝申し上げます。

6月15日(火)に中体連大会選手推戴式を実施しました。「強気の四訓」(元プロ野球楽天監督の星野仙一氏)を紹介し、「迷った時には前へ出ろ!守りに入ったら負け。最後は攻める気持ちだ。」「何が起きるか分からないのが中体連大会だ。最後まで絶対あきらめるな。」「心の優勝旗は必ず持って帰ろう。」ということをお話しました。

「強気の四訓」～弱気は相手を強気にさせる 弱気は強気に押し切られる 強気は弱気を制していく 強気は強気をも押し返す～ 三中魂で悔いの残らない闘いを!!